



2019 年前期 なごや環境大学共育講座 B-01

# 「楽しく」「わかりやすく」「面白く」 地球環境の将来を語り合うタベ

主催：公益社団法人日本技術士会中部本部 愛知県支部

回数：下表の全 3 回(個別受講も可)

回	日時	講師	題目	概要
1	4 月 9 日 (火)	加藤信夫	ネイチャーテクノロジーを学ぼう	自然界の植物や動物など、生物が持っている様々な能力が工業製品や食品に利用され、私たちの暮らしに大きく役立っていることを学ぼう
2	6 月 11 日 (火)	西嶋純一	地域から地球へ貢献”環境インターフェース”	地球温暖化やヒートアイランドの防止のために身近な森林・植生を豊かにしていく上で、自然との調和を図る環境インターフェースの視点をお話します。
3	8 月 20 日 (火)	鈴木克彦	暮らしの中の省エネ	家庭には多くの電気機器があり、うまく使うと省エネにつながります。暮らしの中での省エネのヒントをやさしく解説します。

日時：平成 31 年 4 月 9 日(火)、6 月 11 日(火)、8 月 20 日(火) 19:00～20:30

場所：名古屋学院大学名古屋キャンパスたいほう恵館 303 教室

(地下鉄日比野駅下車 1 番出口から徒歩 10 分)

会費：1 回あたり 1,000 円

申込み先：野々部顕治まで

メール：nonobe@tac-net.ne.jp

## 名古屋学院大学

### 名古屋キャンパスたいほう

<会場のご案内>

名古屋学院大学名古屋キャンパスたいほうは、地下鉄日比野 駅 1 番出口を出てすぐ左へ、南東方向へ 400m ほど行ったところにあります。会場は、その右側の建物(恵館) 3 階の 303 教室です。





なごや環境大学 2019 年前期 一般市民向け技術士会愛知県支部環境講座

「楽しく」「わかりやすく」「面白く」地球環境の将来を語り合うタベ

## 第 1 回 ネイチャーテクノロジーを学ぼう

主催：公益社団法人日本技術士会中部本部愛知県支部

日時：平成 31 年 4 月 9 日(火) 19:00～20:30

場所：名古屋学院大学名古屋キャンパスたいほう恵館 303 教室

(地下鉄日比野駅下車 1 番出口から徒歩 10 分)

会費：1,000 円

講師：加藤 信夫 (技術士：建設、総合技術監理部門)

### 内容

No	項目	内容
1	はじめに	地球が誕生してから約46億年がたち、地球上に生命が誕生してから約38億年がたちます。私たちのそばには、長い年月をかけて進化して来た生物が持つすばらしい仕組みがあります。 今回はこの生物が持つすばらしい仕組みに注目してみます。
2	ネイチャーテクノロジーとは	生物が持つすばらしい仕組みを学び、それを社会に生かすこと。 そして省エネルギーに配慮し、環境を壊さないようにして、自然とともに生きていくことの出来る新しい技術や物を作り出して行くこと。 この「自然に学ぶ技術」をネイチャーテクノロジーといいます。
3	生物のすぐれた「技」が、 くらしに役立っている事例の紹介と観察	・ハスの葉の超撥水性がヨーグルトのフタに応用され、中味がフタにくっつかないようにになっています。 ・ミツバチの巣の正六角形の構造は軽くて丈夫なため、飛行機などに応用されています。 ・ひっつきムシの表面のトゲ構造がマジックテープに応用されています。 ・未来のぶつからない車は「魚群の泳ぎ」がヒントになっています。
4	今日の事例を参考にして 生物の不思議を見つけよう	・今日の事例のほかに生物が持っている不思議はないか。 ・実際に工業製品として応用されている事例はほかにないか。
5	生物多様性について	・生物は自然の中でお互いにバランスを保ちながら生活をし、進化を続け、未来へとつながっていく。 ・私たちのくらしは、豊かな森林や河川などの自然に守られ、生物の生態系サービスの恵みにより成り立っています。